

「絵本とわらべうたの会」2024年度①

日時 11月12日(火) 10:00~11:00
 場所 西公民館 1階 集会室

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたで楽しいひとときを過ごします。赤ちゃんもお母さんのうた声と一緒にゆっくり身体をゆすられて楽しめます。絵本の読み聞かせもあります。

必要な方は敷物やバスタオルをご用意ください。

市民読書サポーターのいる日程 11月

市立中央 図書館 (10~12時)	2日(土)	9日(土)
	16日(土)	23日(土)
	30日(土)	
西公民館	12日(火)	10:30~11:30

笑顔が笑顔を呼ぶわらべうた

9月の「絵本とわらべうたの会」に参加しました。この日は、半数近くの親子が初めての参加でした。お子さんは、見知らぬ会場に不安そうな顔をしています。お母さんがほんの少し離れただけで泣き出す赤ちゃんもいました。わらべうたが始まってお母さんの膝の上で揺すってもらったり、船漕ぎ遊びをするとお子さんの顔に笑顔



が見られるようになりました。わらべうたのリズムとお母さんの笑顔で楽しくなってきたようです。足の指からお尻まで刺激する「イチリニリサンリ」、足の指を揉む「チッチャイマメコロコロ」、日頃触れることが無いためか怪訝そうにするお子さんもいます。そんなお子さんの表情を確かめながら触れているお母さんの様子に、お互いを感じ合っているんだなあと温かい気持ちになります。後半、輪になって歩いたり、門くぐり遊びをする時には、会場はとても賑やかになっていました。「汗かきました」と笑顔のお母さんに、ニッコリとバイバイをするお子さん、元気に帰っていく親子の姿に私も癒されました。(市民読書サポーター 黒木淳子)



おすすめの本の紹介



むかし むかし あるところに

竹中淑子・根岸貴子 著
 堀川理万子 絵
 徳間書店

伝承文学の特徴を守りながら、お話そのものの面白さを前面に出した昔話が必要だと考えて再話されたもの。低学年くらいを対象に、「ももたろう」「カチカチ山」などの五大昔話を中心にお話は選ばれ、子どもが自分で読むことを考えて、あえて方言は使っていない。耳で聞いてわかりやすいか、日本語のリズムを生かした文章になっているかを何度も声に出して確かめたと、著者は話している。



はじめての古事記 日本の神話

竹中淑子・根岸貴子 文
 スズキコージ 絵
 徳間書店

小学校での読み聞かせに使える『古事記』がほしいという現場の要望に応じて『古事記』の中の神話の部分だけをやさしいお話にまとめたもの。『古事記』の持つ不思議な魅力を壊さずに、お話としてのおもしろさを伝えている。「ヤマタノオロチ」「イナバノシロウサギ」「ウミサチヤマサチ」「コノハナサクヤヒメ」などもこの本で読むことができる。

裏面もご覧ください